

# 平成22年度 北区立十条台小学校学校経営計画

北区立十条台小学校長 石塚 博

## 1 目指す学校

北区教育ビジョン2010の趣旨及び北区教育委員会の教育目標を踏まえ、地域の学校として児童はもとより保護者や地域住民の願いに応えることのできる新しい教育の創造を目指した学校経営を進める。

### 【目指す子供像】（十条台小学校の教育目標）

益々激しくなるであろう社会の変化に柔軟に対応し、自らの責任を確実に果たすとともに、他と協調し合い、豊かな日本を構築できる「生きる力」を兼ね備えた人間を育てる。

思いやる子  
考える子  
元気な子

### 【目指す教師像】

教育愛と使命感に燃え、子供に慕われる教師  
子供に満ち足りた思いを抱かせる授業を創る教師  
子供一人一人のよさが生かされ、自己実現に向けての適切な支援ができる教師  
「常に子供とともに」（子供から目、耳、心を離さない）を合い言葉に、子供の成長や課題を鋭敏に見取り、よりよき変容に向け、指導改善に常に努力する教師でありたい。

### 【目指す学校像】

笑顔あふれる学校の創造に努める。保護者、地域住民、教職員、その全てが一枚岩となり、子どもたちのため、心の通い合うかわりを大切にした教育活動を推進する。  
子どもたち一人一人が確かな成長を実感できる学校  
学び合い、高め合い、十条台小に集う喜びを味わえる学校  
充実した教育活動を進める第一の基盤として、「安心・安全」な学校であることに力を注ぐ。

#### 「子供」の笑顔があふれる学校

一人一人のよさが発揮され、確かな学力を身に付けることのできる学校  
思いやりに満ちあふれ、集団生活の喜びを味わえる学校

#### 「教職員」の笑顔があふれる学校

「授業が命」を常に心し、プロとして自信をもって授業を創造する学校  
協働する喜びがあり、全教職員が一枚岩となって教育を進める学校

#### 「保護者、地域住民」の笑顔があふれる学校

状況がつぶさにわかり、地域の学校として愛着のもてる学校  
意見や要望に対し誠実に耳を傾け、教育改善を迅速に行う学校

## 2 中期的目標と方策

確かな学力を身に付け、生涯学習の基礎づくりに寄与する

質の高い授業実践を推進し、個に応じた指導の充実を期し、基礎・基本の確実な定着、思考力や判断力、表現力等確かな学力を育成する。

指導計画や指導方法、指導体制等の改善と充実を常に期し、主体的に学び合う態度や能力、意欲を高めていく。

研究、研修に励み、よい授業を創造できる教職員の資質向上を図る

校内研究の充実を期すことを第一とし、合わせて日常の業務進行の中でOJTを推進し、各々の課題解決に向けた学び合いを活性化させる。

各々が自らの責任を確実に果たすとともに、あらゆる教育課題に全員が一体となって解決策に当たる機能する組織をつくる。

保護者、地域住民、教職員が相互に信頼し合い、教育を共に進める学校を目指す

適時に学校公開、保護者会、個人面談等を実施するとともに、その内容を工夫し学校教育の趣旨を適切に伝えていく。教育活動に直接的に参画していただく場も広く設定し、理解の深化、教育活動の質的向上、保護者地域の教育力の向上を目指す。

自己評価、保護者による教育活動への評価や学校関係者評価を適時に実施するとともに公開する。意見や要望には、改善の方向を明確に示すとともに、出来ることは次年度を待たず直ちに実践していく。

3 今年度の取組目標と方策 (1) 教育活動の目標と方策 及び (2) 重点目標と方策 (太文字)

笑顔あふれる学校の創造

- ・子どもたち一人一人が確かな成長を実感できる学校 … 子供の笑顔
- ・学び合い、高め合い、十条台小に集う喜びを味わえる学校 … 保護者、地域住民、教職員の笑顔

心の通い合うかわりを大切にした教育活動の推進

確かな学力を保証し、学ぶ意欲を高める

- ・新学習指導要領完全実施に向けた指導・評価計画の作成を進めるとともに、趣旨に則った日々の授業の充実と改善を重ねる。
- ・算数少人数、非常勤教員、学力PU講師、理科支援員等を活用し、個に応じた指導の工夫と充実を図る。
- ・深い児童理解に基づき、週案簿を活用した十分な計画、柔軟な指導、認め励ます評価等の実践を継続する。
- ・週2回の朝スキル、週1回以上の放課後の時間等を活用し、個別の学習支援を実施し、基礎基本の確かな定着を図る。
- ・学ぶ楽しさを体得する体験活動や問題解決的活動、協同的活動を積極的に取り入れる。
- ・新聞・インターネット等を活用し、情報活用の能力を高める。
- ・長期休業日を活用し、発展・補充学習の充実を図る。
- ・言語能力を高めるための指導のあり方を追究する。
  - ↔ 国語科を中核とした言語活動の工夫と充実を図る授業の実践
  - ↔ 全ての教育活動における言葉の重視 保護者や地域への啓発
  - ↔ 朝の読書の時間、中央図書館の活用等読書活動の充実
  - ↔ 言語環境の整備

自他を大切にする豊かな人間性をはぐくむ

- ・自他を尊重し合う心情をはぐくむために、年2回の人権教育強化週間を設けるとともに、年間を通し「人権の花」活動を実践する。
- ・しいの木班（縦割り班）による異学年交流を年間を通し実施し高学年児童のリーダーシップや責任感、児童相互の豊かな人間関係力や規範意識をはぐくむ。
- ・幼稚園や保育園、特別支援学校等と心の触れ合う交流活動を年4回以上実施し、思いやりの心をはぐくむ。
- ・年2回、クリーンタウン作戦（地域清掃）を実施し、地域住民との交流を通し、地域への愛着や所属感をはぐくむ。
- ・よさの学び合いの場としてのマイスター発表会、学習成果を認め合う場としての運動会や学芸会等を通し、めあてに向かって努力する忍耐力を育て、一人一人の自信をはぐくむ。
- ・「いつでも、どこでも」進んであいさつのできる児童の育成を年間重点目標とし、家庭や地域への啓発を含め、指導していく。
- ・休み時間の児童看護を確実に実施し、児童相互のかかわりを確実に見取ることに努める。
- ・教育活動全体を通し言葉を介したコミュニケーション機会を重視する。

生き生きと活動できる健やかな体を創る

- ・運動量を確保した機能する体育授業の実施を軸に、年間14時間のパノラマプール活用によるアクアタイム、年間を通し業間に実施するスポーツタイム等により、体力や運動に親しむ意欲の向上を図る。
- ・毎日の歯磨きタイム、年2回以上の歯磨き指導や食育に係る活動等を工夫し、健康の保持増進について保護者や地域との共通理解を深めるとともに、確実な実践を重ねていく。
- ・年2回の学校保健委員会等の機会を活用し、学校医等を講師に教職員と保護者が共に学び合う機会（講演会等）を設定する。
- ・基本的な生活習慣（学習習慣を含む）の定着に係る保護者への啓発を諸たより、保護者会、面談等を通して継続的に実施し、日常の学習効果を高めていく。
- ・体力テストを実施し、結果を分析吟味することにより、課題を明確にし、指導計画等の改善策を立案する。
- ・養護教諭と担任との連携による保健学習、関係機関との連携による薬物乱用防止教室等の実施により、自らの健康を主体的に保持増進させようとする意識を高める。
- ・保護者との連絡を密にし、児童の健康状況についての把握や配慮等を常時確実に行うよう努める。

学校を開き、共育を推進する

教育活動を積極的に公開する

- ・年間3日×4回の学校公開を実施する。  
※ 保護者のみならず地域掲示板や諸たより等を活用して地域住民の参観者の増加を目指す。
- ・ホームページを2週に1度程度更新する。
- ・子供の姿がみえる諸たよりを内容を工夫するとともに随時発行していく。（学校、学年、給食、生活指導、SC、図書等）

保護者や地域と協働した教育活動を推進する

- ・日々の授業や読書活動、安全の見守り、食育活動等への学習支援を保護者、地域住民に働きかけ、昨年度の実績250人を上回るボランティア活用を図る。
- ・地域住民の講師招聘や郷土素材の教材化等を進め、地域に根ざした教育活動を推進する。
- ・PTA活動を通じた相互理解、相互協力の深化
- ・地域行事への児童及び教職員の積極的参加（年1～2回）を促し、地域と一緒にあった健全育成活動を推進する。

評価を積極的に受け、迅速な改善に反映する

- ・各行事毎及び年に2回、児童及び保護者の評価を得る機会を設け、迅速に改善策や方針を示す。
- ・自己評価を広く公開するとともに、学校関係者評価を評価項目精査により適時に実施し、結果を公開する
- ・年3回以上の学校評議員会を開催し、教育活動の有り様や児童や教職員の状況等を分かりやすく伝える工夫をしていく。

学校ファミリー校との連携を確かなものにする

- ・年に1回以上授業交流会を実施、カリキュラムや指導法等についての協議を深める。
- ・小中一貫教育研究指定校の実践を学ぶ機会を設け、本サブファミリーにおける実践につなげていく。
- ・新学習指導要領完全実施に向けた指導計画作成は、国語や算数については中学1年の内容を含め作成する。
- ・ファミリー校の学校公開や研究授業には出来る限り教職員が参加し、指導の有り様を学ぶ機会とする。
- ・年に2回以上、学校行事等を中心に児童や生徒の交流の場を設ける。

教育公務員としてあるべき姿を示す (心身健康+服務規律遵守を基本;ICT活用による校務効率化)

- ・全ての判断基準は、「子供にとってどうか」におく。
- ・全教職員が担任という認識をもち、子供にかかわり指導する。
- ・受容と共感、肯定的評価を重視し、子供に自信と夢をもたせる。
- ・いつでも、どこでも、誰でもが、足並みを揃えた指導を実践する。
- ・3S (SPEED (迅速)・SMILE (笑顔)・SINCERITY (誠実)) を心して、子供に、保護者に、地域住民に対応する。
- ・組織の一員である自覚をもち、担当する分掌に他と協力し合い責任を確実に果たす。
- ・研究、研修に対してひたむきに研鑽を重ね、授業力向上を目指す。
  - 年6回の研究授業の実施
  - 年間を通してのOJTの実施 (相互授業観察、日常的な授業や分掌等での学び合い)
  - 自己申告に係る管理職からの指導助言
  - 北区教育研究会等への参加による新しい教育情報の積極的な収集と共有化

安心・安全の確立

- ・危機管理マニュアルの見直しと改善を年間を通し実施していく。
- ・日々の学習生活指導や教育相談の充実により、いじめや不登校0を目指す。
- ・週1回の生活指導朝会、月1回の特別支援校内委員会や毎週末の情報交流会等をSCとの密なる連携のもと実施し、児童に係る課題を全教職員が把握し共同歩調をとった手立てを重ねる。
- ・月々の避難訓練をはじめ、安全指導の徹底により事故や災害被害0を目指す。
- ・携帯メールによる学校情報配信システムを一層有効活用していく。(90%以上登録を目指す。安全に係る情報の保護者への迅速な配信)
- ・サブファミリー校や地域保育園、児童館、警察等関係諸機関等との密なる情報交換を進める。
- ・校舎内外の巡視(日に3回以上)や休み時間等児童看護の徹底、オートロックや防犯カメラの有効活用を進める。
- ・来校者への100%の声かけを実施する。
- ・美しく落ち着いた環境づくりを進める。(言語、きまり、栽培、清掃、掲示物等)